

平成 26 年度学校関係者評価委員会報告書

平成 26 年 9 月 5 日

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校

学校関係者評価委員会

委員長 西山 宏二郎

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校 学校関係者評価委員会は、「平成 25 年度に係る自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて、学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

1 開催日時

第一回 平成 26 年 7 月 14 日(月) 15:30～17:30

第二回 平成 26 年 8 月 4 日(月) 10:00～11:50

2 委員

| 氏名 | 所属 |
|-------|--------------------------|
| 西山宏二郎 | 社会福祉法人藤嶺会 弥生苑 施設長 |
| 川端ゆり佳 | 社会福祉法人なつめの会 プチアンジュ保育園 園長 |
| 西山俊太郎 | 学校法人峰岡学園 峯岡幼稚園 園長 |
| 田崎のりえ | 社会福祉法人箱根恵明学園 箱根恵明学園 保育士 |
| 増田ツヤ子 | 聖ヶ丘教育福祉専門学校なでしこ同窓会 会長 |
| 橋本 文伸 | 常盤台北部自治会 会長 |
| 井上 貴恭 | 学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校 校長 |
| 古澤 昇 | 副校長 |
| 今村 雅彦 | 保育科教務部長 |
| 小林 根 | 介護科教務部長 |

3 議事報告

| 評価項目 | 評価・意見 |
|-------------------------|---|
| 基準 1 教育理念・目的・ 育成人材像等 | 我が国の専修学校教育の今後が見通せない中、学校の将来の姿を思い描くことは学校運営の面でも非常に難しい面もあるが、将来こういう方向に進みたいとの学校のビジョンをある程度明確にするとともに、可能であるなら学校の進むべき中・長期構想を今年度中に文書化願いたい。 |

| | |
|-----------------|---|
| 基準 2 学校運営 | <p>人が人を考課する人事考課制度には難しい面があるが、これからの教員の質の向上を考えると、自己評価制度だけで人事考課するのは無理があるので、今後、教員のモチベーションが下がらないような学校の実態に合った人事考課制度の構築を検討願いたい。また、現在、学校は財政基盤が安定しているが、今後も同じ給与体系を維持できるか疑問であるので、学校の 10 年後 20 年後の運営を考えて良い人材を育成・確保していくために、学校の中・長期事業計画に沿ったバランスの良い給与体系や昇進・昇格制度を構築するよう望みたい。</p> |
| 基準 3 教育活動 | <p>授業評価については、何のためにアンケートなどを行うのかを学生に説明したうえで、学校独自の評価手法を工夫して実施してもらいたい。アンケートの集計結果を様々な手段を使って学生に伝えることにより、アンケート実施の意味合いも増し、生きたアンケートとなる。</p> |
| 基準 4 教育成果 | <p>退学率の低減対策や卒業生の動向把握に、これまで通りに努力の継続を願いたい。</p> |
| 基準 5 学生支援 | <p>様々な問題を抱える学生のために学校内で相談しやすい環境を整えることが肝要であり、教員以外の外部の専門家を配置することも含めて検討するよう望みたい。また、学生が教員に言いづらい事や修学上等で提案したい事等について、直接学校長等に文書を渡すことができる「提案箱」の設置を検討してもらいたい。</p> |
| 基準 6 教育環境 | <p>防災訓練については、消防署や地域の自治会等と連携を図り、より一層訓練の実が上がるような方法に取り組んでももらいたい。</p> |
| 基準 7 学生の募集と受け入れ | <p>入学者・非入学者アンケート等によるアンケート調査等については、教育システムの検証・改善に役立つ資料となるため、実施に向けて内容項目等の検討願いたい。</p> |
| 基準 8 財務 | <p>今後も適正な財務の管理・運営に向け努力願いたい。</p> |
| 基準 9 法令等の遵守 | <p>今後も法令等の遵守と適正な運営に向け努力願いたい。</p> |
| 基準 10 社会貢献 | <p>今後も社会貢献や学生ボランティア活動の奨励・支援に向け努力願いたい。</p> |